

3. 教職員による自己評価

評価項目	取組みの内容	評価	取組み状況
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・本園の目標、重点目標を踏まえ年間計画・指導案の達成や反省を教職員で共有し、チームとして取り組む ・難しいことを設定するより楽しさを伝えられる保育活動を考える 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児との交流が多く、年齢によっては多少難しいことでも、年長児に助けられながら楽しさを共有することができ、それが子どもたちの自信へと繋がられた。 ・身の自立においては、個の発達に応じた計画を綿密に立て、もっと余裕をもって指導すべきだった。 ・活動の楽しさを共有出来る計画を立てられたが、見通しの甘さから時間が足り無くなるがあった。
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがさまざまな体験や、身近な自然や社会とかかわることを通じて学ぶ環境を整える 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でやりたいという気持ちを尊重し、自分で選べるよう絵本棚を替えたり、挑戦したい事に向き合ってみ守り、達成感を持てるようにした。 ・自然との関わりをたくさん持てるように、遊びに取り入れた。 ・好ましくない遊び方の方向をうまく誘導できない場面があった。
自己評価と自己採点	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自分で考える機会を持ち、心の育ちができる保育をする ・子どもの話をよく聞いたり、子どもの目線に立ち、言葉にならない思いやサインを受け止めるよう努める 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉でのやり取りがまだ充分でないため、トラブルが起きるが、教師が介入して気持ちを汲んだり気持ちを代弁し、お互いが理解できるよう努めた。 ・子どもの発達段階を教師間で話し合ったり、研修で知識を深めた。 ・教師間でのやり取りから、子どもの育ちに関わる事を学び、保育に生かすこと努めた。
安全対策・安全点検	<ul style="list-style-type: none"> ・「安全対策マニュアル」「避難確保計画」の共通理解を持つ ・避難訓練を行い、突発的な対処もできるよう知識と対応力を高める 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、地震により避難することがあったが、日頃の訓練により落ち着いて行動できた。 ・毎日、遊具の点検や危険な場所がないかの安全確認を行った。 ・避難持ち出し袋の中の点検と補充をこまめに行った。
保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と連絡や報告などを密にし、子どものようすがわかるようにする 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳を用いて、子どもの日々の様子が分かるようにした。家庭での様子もわかり、保育に生かすことができた。 ・良いことだけでなく、課題も家庭と共有することで、共通理解を持って課題に取り組むことができた。
気になる子への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・注目して話が聞けるよう言葉だけではなく、配慮に工夫する ・その子が何を伝えようとしているのか、どんなことに気持ちが動かされるのか様々な働きかけや関わり方に努力する 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の必要としていることをよく知り、適切な配慮ができるよう心掛けた。 ・教師間で共通理解を持って指導に当たるようにした。 ・指導する際、カードなど取り入れたが、いつもとはいかず、分かりやすい指示・指導が足りなかったと反省している。
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を通して子どもが多様な体験や身近な自然や社会とかかわることを通じて学ぶ ・小中野教会の方を行事に招いたり、又礼拝や祝祭に参加して交流を深める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域探検を通して、地域への理解や、子どもが率先して先頭に行くなど、主体的な行動に結びつけられた。 ・子どもたちが招待状を作って、教会の方をお呼びし、親子集会など共に楽しむことができた。 ・散歩や行事での挨拶をもっと積極的出来るようにしたい。
義務	<ul style="list-style-type: none"> ・職務上知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている ・園務がきちんとできるよう指導されたことは一度でできるよう努力する 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーや秘密厳守を徹底した。 ・ホームページなどで名前が出ないよう、注意している。
2歳児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとり、安心感と自己肯定感がもてるような言葉がけをしている 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・2歳児は言葉よりも行動で示すことが多く、その都度「貸して」「いいよ」など言葉で解決できるよう努めた。 ・安心して遊べるよう言葉がけや見守りをした。 ・担任の環境作りや言葉がけが、とても良い学びになった。

評価 A:概ね達成されている B:取り組みしているが成果が十分でない C:取り組みが不十分である

4. 職員による自己評価

評価項目	取組みの内容	評価	取組み状況
態度	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則など規則・規定を遵守し園の秩序の維持に努めた ・他の職員としっかりコミュニケーションをとった ・自分の役割をよく自覚して仕事に取り組んだ 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・規則・規定を理解し、遵守した。 ・業務以外にも、必要な作業がある所には積極的に協力し、園務がスムーズに行われるよう努力した。
能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割をよく自覚して仕事に取り組んだ ・相手の意見や主張に対して、冷静に対応できる ・与えられた仕事を、効率よく処理している 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の業務を正確に把握し、年間を通して遂行することができた。 ・一人で完結しようとせず、他の職員とも共通理解を持って職務にあたった。 ・食育では、子どもたちに食の大切さが伝わるよう、取組みを工夫して行った。
義務	<ul style="list-style-type: none"> ・職務上知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職務上知り得たプライバシーに関する情報の秘密は守った。

評価 A:概ね達成されている B:取組みしているが成果が十分でない C:取組みが不十分である

5. 総括

・今年度、重点目標として掲げていた「1.子どもの気付き」に関しては、子どもたちの言動を取りこぼさず、向き合って保育することができた。気づきを気づきで終わらせず、発展して遊びに取り入れたり、製作活動につなげることができた。「2.子どものやってみたいから始まる遊び」も同様に意識して取組みたと考えている。しかし「3.生活の力をつける」に関しては、努力はしたもののまだまだ指導と継続が必要と感じている。子どもたちが自立できるよう、教師は指導、サポートしているが、子ども自身の意欲を高めることや、そのための環境の構成を整えることがもっとできたのではないかと考えている。

・年度途中で職員1名が退職した。普段から職員全体で子どもたちと関わり、共通理解を持っていたことで、子どもたちへの対応もスムーズにでき、不安を感じたり混乱を招くことなく、以前と同じように過ごすことができた。小中野幼稚園の強みである、チームとしての保育が良い結果につながっている。

・保護者アンケートの項目で、12・13の回答が「ややよい」が多くなっている。これは、朝の登園しぶりが昨年度よりも目立っているからではないかと考えている。何人かいるが、どの子も保護者と離れ、園に入ってしまうととても元気になり、活発に遊んでいる。保護者にとっては、登園時のぐずっている姿しか見ていないので、中々喜んで登園していると思えないところがあるのではないだろうか。登園後の様子を、もっとたくさん保護者の方に伝え、安心して頂けるように、より努めていきたいと考えている。

6. 今後の課題

- ・見通しを持った計画の立案。
- ・子どもたちの発達や興味に即した環境を整える。
- ・一人ひとりの発達に合わせた支援や指導の実践。
- ・子どもの園で過ごす様子を、より丁寧に伝えていく機会を増やす。

学校関係者評価

1. 自己評価の取り組み内容は適切でしたか。

- ・適切である
- ・取り組み内容は適切であり、取り組み状況はとても細やかに真摯に保育に向き合っていると感じます。
- ・細かく取り組み内容が記されており、それに対する状況も細かく書いてあるので適切であると思います。
- ・適切でした。よく努力なさっていると思います。
- ・適切になされている。
- ・職員が共通理解することで、子どもたちや保護者への対応もスムーズで適切である。

2. 今後取り組むべき課題は適切に設定されていましたか。

- ・適切に設定されている。
- ・抽象的な表現（見通しを持った計画の立案）があり、伝わり辛いので、もう少し具体的にしたら良かったのではと思います。
- ・適切に設定されています。
- ・資料に添って取り組みの状況が詳しく説明され、適切に設定されていたと思う。気づきを気づきで終わらせず、終わらせず、発展して遊びに取り入れたり、製作活動に繋げることができた、やってみたい遊びに取り組めた、など喜ばしい子どもの姿が感じられた。また、安全対策に対する日頃の努力が良く伝わった。
- ・入園時期が違うことで、活動への取り組み時期も異なるので、一人ひとりの発達に合わせた支援や指導、環境を整えることは必要であり、課題は適切に設定されている。

3. 今後、園に期待されることやご意見などがありましたら教えてください。

- ・今まで通り、一人一人の園児を大切に保育して下さい。
- ・配慮の行き届いた保育がなされていると思います。「生活の力をつける」はとても大切な目標だと思います。園生活と家庭の生活が一連の取り組みになるような保護者の皆様の理解と協力も大切なのではないかと思います。
- ・小規模だからこそ出来るきめ細かい取り組みを期待します。「キリスト教精神」を前面に打ち出した教育をお願いします。
- ・一人ひとりに丁寧に関わる保育がなされていると思う。保育者も子どもたちも神様から愛されている、大切な命をいただいている、その愛の心が保育に生かされていると感じる。項目には、キリスト教保育という言葉はないが、先生方は聖書研究や礼拝出席に努力なさっているのは頭が下がります。励まされます。
- ・チームとしての保育が良い保育、結果に繋がっている、に同感です。たくさん色んな経験が出来るよう頑張ってください。
- ・会議の中での、平和教育の大切さに共感しました。子どもたちの身近な事にこれからも目を向け、小中野幼稚園の愛のわざの伝統を力に頑張ってください。
- ・教育の充実と共に、地域との交流を継続することで、信頼される幼稚園として期待されている。